ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-P22
取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号 八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0613A
FNNM-EF

使用前のご注意

■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

日本国内でのみ使用してください。

This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
・海上、山頂など条件のよい所　：2kmまたはそれ以上
・河原など障害物のない平地　　：500m～1km程度
・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m程度
・市街地のような障害物の多い所：200m程度

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■水につけないで
JIS IPX7相当の防水性能がありますが、ゴムキャップや電池フタをきちんと閉じていないと防水性能を保証できません。また完全防水構造ではありませんので水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。
濡れたあとは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。
防水に使われているゴムキャップなどは経年劣化が生じ、防水性が失われることがあります。
弊社では防水性についても製品と同じ保証期間ですのでご了承ください。

■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。
受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■安定化電源の使用について

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

安定化電源の電源プラグと他の製品の電源プラグをタコ足配線しないでください。

ぬれた手で安定化電源の電源プラグに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

安定化電源の電源プラグをACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

DCケーブルを加工したり、ヒューズホルダーを取り除いて使用することは、絶対にしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

■シガーライターケーブルの使用について

ぬれた手でシガーライターケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

弊社指定のシガーライターケーブルをお使いください。指定以外のものを使うと、火災、感電、故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■落としたり、ケースを破損したりしたとき
■内部に水や異物が入ったとき
■ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン/マイクロホン端子にはオプションのイヤホン/マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。

■外部電源使用時の注意

本機に外部電源を接続する場合には、必ずオプションのACアダプター（EDC-122）を使用し、本体上面にあるDC電源ジャックに直接接続してください。

車のシガーソケットから電源を取る場合には、オプションのシガーDC/DCコンバーター(EDH-33)をご使用ください。

外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源をOFFにしてからおこなってください。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

□ベルトクリップ（ネジ1本）　□取扱説明書（本書）
□ハンドストラップ　□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ベルトクリップ：BH0026
ネジ　　　　　：AA0076Z

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

①電池フタを左（反時計方向）に回して取り外します。
②単三形乾電池またはニッケル水素充電池（EBP-79）1本を[－]側から入れます。
③電池フタを右（時計方向）に回して取り付けます。

注意 ・電池フタを紛失しないよう注意してください。
・電池の極性[＋/－]を間違えないように入れてください。
・長期間使用しないときは電池をトランシーバーから取り出してください。

充電池および充電器（オプション）

充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

●ニッケル水素充電池：EBP-79（1.2V 1800mAh）
●ツイン充電器セット：EDC-179A
●連結充電スタンド　：EDC-179R
●ACアダプター　　　：EDC-122
●連結用ACアダプター：EDC-162

充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
充電器（EDC-179A/179R）を使用して、空のニッケル水素充電池（EBP-79）を満充電するのに要する時間は約6時間です。

注意 市販の単三形充電池はご使用になれません。
電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わないおそれがあり故障の原因となります。
弊社の充電器は、対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。

連結充電スタンド（EDC-179R）の使用方法

連結充電スタンド（EDC-179R）を使用して連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター（EDC-162）が必要です。
最大で5台連結し、トランシーバーを10台同時に充電することができます。

①充電スタンドどうしを連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
②充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③連結用ACアダプターのコネクタを、端の充電スタンドのコネクタに接続します。
④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑤トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
最大で10台同時に充電可能です。
⑥充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

ツイン充電器セット（EDC-179A）の使用方法

①トランシーバーにニッケル水素充電池（EBP-79）を装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンド背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
1台のみ、または2台同時に充電可能です。
⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

メモ 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

注意 トランシーバーを前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、後方のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。

注意 ニッケル水素充電池を保存するときは、満充電した状態で高温多湿を避けて保存してください。
ニッケル水素充電池を6ヶ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し、使用時間が短くなることがあります。
その場合は、下記の方法でニッケル水素充電池のリフレッシュをおこなってください。

①トランシーバーにニッケル水素充電池を装着します。
②指定の充電器を使用し満充電した後、トランシーバーの電源を入れたまま放置します。
③「減電池表示が出る」「トランシーバーの電源が切れる」など、電池を使い切るのを待って再度充電をおこなってください。
④上記の要領で、充放電を3回程度繰り返します。

リフレッシュをおこなっても、ニッケル水素充電池の使用時間が著しく短い場合は寿命が尽きたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

各部の名前とはたらき

前面部

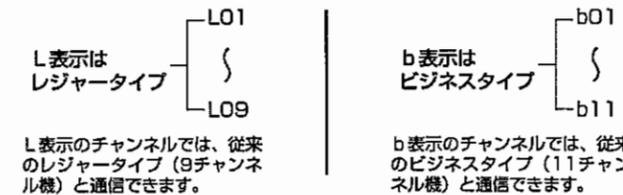
ディスプレイ

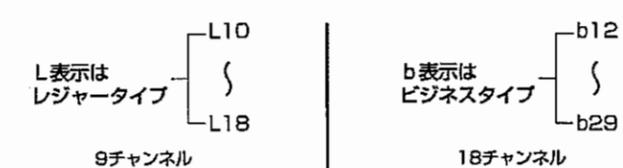
チャンネル表示について

●交互通話時

レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L 表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ（9チャンネル機）と通信できます。

b 表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ（11チャンネル機）と通信できます。

●中継通信時

レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

9チャンネル

18チャンネル

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

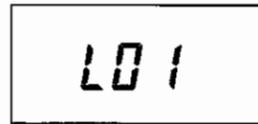
電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルの L01 ～ 09、b01 ～ 11 を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

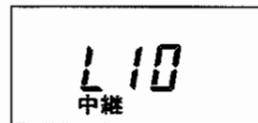
送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→インジケーターが赤色に点灯します。
　[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
　マイクと口元は約5cm離してください。
　一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。
　[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。
別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルの L10 ～ 18、b12 ～ 29 を選択します。
→「中継」が点灯します。

送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ピピ」という音が鳴ります。
　[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ　お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意　中継用チャンネルでは、子機どうしの直接通話はできません。
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機－中継器間、子機－子機間は10m以上離してください。

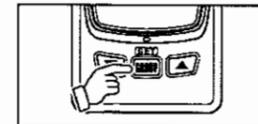
コールトーン機能

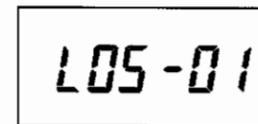
送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▽と△キーでは音色が異なります。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

[GROUP]キーを押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[F]キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は01 ～ 50を選択できます。

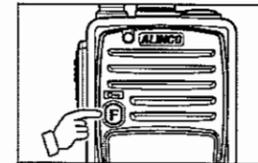
送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック

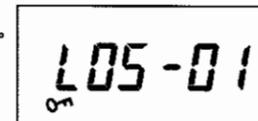
キーロックしておくと誤操作を防止できます。

簡易キーロック（LoC-1）

[F]キーを約2秒押します。
→「LoC-1」が点滅したあと「O┓」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

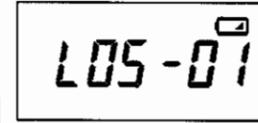
通常キーロック（LoC-2）

[F] キーと [GROUP] キーを同時に約2秒押します。
→「LoC-2」が点滅したあと「O┓」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

電池の残量が少なくなると「▭」が点灯し、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。
さらに残量が少なくなると「▭」が点滅します。
点滅したら新しい電池と交換してください。

L05-01

メモ　「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換してください。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

[F]キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[F]キーを離します。
→工場出荷状態のL01 チャンネルになります。

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

①[F]キーを押しながら [SET] キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
　[F]キーを押すと前項目に戻ります。
③▽または△キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ　セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bAt-AL	電池選択（アルカリ／ニッケル水素）	AL ／ ni	AL
CmP-oF	コンパンダー（雑音低減）	OFF ／ ON	OFF
vo-oF	VOX（音声検出送信）	OFF ／ ON	OFF
Scr-oF	秘話	OFF ／ ON	OFF
bP-Lo	ビープ音量（操作音）	OFF ／ Lo ／ Hi	Lo
EdP-on	エンドピー（送信終了音）	OFF ／ ON	ON
bEL-oF	ベル（呼び出しお知らせ）	OFF ／ ON	OFF
LmP-5	ランプ	OFF ／ 5 秒／ ON	5 秒
HLd-oF	PTT ホールド（送信保持）	OFF ／ ON	OFF
Ptt－on	PTT オンオフ（送信禁止）	OFF ／ ON	ON
At-on2	中継器接続手順	OFF ／ ON1 ／ ON2	ON2

その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

デュアルオペレーションモード

メイン／サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機能は、中継器DJ-P101R、DJ-P111Rに対応しています。

メモ　誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信制限時間を超過している。	[PTT]キーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-79	ニッケル水素充電池
EDC-179A	ツイン充電器セット
EDC-179R	連結ツイン充電スタンド
EDC-122	AC アダプター
EDC-162	連結充電用大容量 AC アダプター
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EMS-62 (※1)(※3)	スピーカーマイク（防水プラグ）
EME-12A	VOX 付きヘッドセット（ヘッドホンタイプ）
EME-13A	VOX 付きヘッドセット（イヤホンタイプ）
EME-15A	VOX 付きタイピンマイク
EME-19A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク（業務仕様）
EME-29A	イヤホンマイク耳かけ式（業務仕様）
EME-30A	イヤホンマイク（ブームマイク）
EME-31A	イヤホンマイク（マイクロスピーカータイプ）
EME-32A (※3)	イヤホンマイク（業務仕様・防水プラグ）
EME-34A	イヤホンマイク
EME-36A (※3)	イヤホンマイク（防水プラグ）
EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-6	イヤホン
EME-26	カールコードイヤホン
EDS-14 (※3)	プラグ変換ケーブル（防水プラグ）
ESC-51	ソフトケース

(※1) スピーカーマイクは、PTT ホールド機能、VOX 機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。
(※3)「防水プラグ」の明記があるものは、直接トランシーバー（DJ-P22）へ接続可能です。
　それ以外のオプションマイク製品を使用するには、別途プラグ変換ケーブル (EDS-14) が必要です。

定　格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.7875~421.9125MHz（受信）
		422.2000~422.3000MHz
		440.2625~440.3625MHz（送信）
	ビジネスチャンネル	421.5750~421.7875MHz（受信）
		422.0500~422.1750MHz
		440.0250~440.2375MHz（送信）
周波数制御チャンネル	421.8000/440.2500MHz	
電波形式	F3E（FM）／F1D（FSK）	
送信出力	10mW	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBu（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz／2nd IF 450KHz	
音声出力	50mW以上	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC1.5V（単三形電池1本）	
動作温度範囲	-10～+50℃	
寸法	54（W）×92（H）×28.5（D）mm（突起物除く）	
重量	約126g（単三形電池1本含む）	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。

DJ-P22　セットモードについて

DJ-P22　特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、カスタマイズすることができます。製品に付属する説明書の「セットモード」の項目で簡単に使い方をご説明しておりますが、無線機の機能になじみの無いお客様向けに、本書にて詳細をご説明致します。

＊文中、「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の設定です。

1: 電池選択機能「bAt」

設定値　AL／ni（初期値 AL）

オプションのニッケル水素充電池 EBP-79 を使用する場合には、バッテリー警告マークを正しく表示させるために使用する電池を選択してください。この設定をしないと表示が不正確になります。

AL　：アルカリ乾電池
ni　：ニッケル水素充電池 EBP-79

2: コンパンダー機能「CmP」

設定値　ON/OFF（初期値 OFF）

コンパンダー機能を ON に設定すると、音声通話の明瞭度を上げる（通話中、音声が無いときに「サー」と聞こえるかすかなバックノイズを低減する）ことができます。コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には、コンパンダー機能は必ず OFF にしてください。逆に音質が悪くなることがあります。

3: VOX 機能「vo」

設定値　OFF/Lo/Hi（初期値 OFF）

【PTT】キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えられる機能です。「話すと送信、黙ると受信」のハンズフリー通話が可能になります。

Lo　：VOX 感度 小（大きな音で反応します。周りがうるさく黙っていても送信してしまうときにお勧めします）
Hi　：VOX 感度　大（小さな音で反応します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください。）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
・VOX 機能を使うと、通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、〜〜〜」「はい、〜〜〜」など、用件に入るまでに頭切れしても差し支えないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

4: 秘話機能「Scr」

設定値　ON/OFF（初期値 OFF）

秘話機能を ON に設定すると、設定をしていないトランシーバーで受信したときには「モガモガ」のような声になって通話内容が聴き取れなくなります。秘話（スクランブルトーク）機能を搭載した弊社製トランシーバー間で通話することができます。

注）本機能のセキュリティレベルは非常に低いものです。機密を要する重要な通話に使えるレベルのものではありませんのでご了承ください。

5: ビープ音量「bP」
設定値　OFF/Lo/Hi（初期値 Lo）

本体から鳴るビープ音（操作音）の動作を変更することができます。
　oF ：すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）が鳴らなくなります。
　Hi ：標準の Lo 設定時よりも、すべてのビープ音量が大きくなります。

注）イヤホンを使用した状態でビープ音量を「Hi」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

6: エンドピー機能「EdP」
設定値　OFF/ON（初期値 ON）

【PTT】キーを離したときに「ピッ」と鳴って送信が終わったことを相手に伝える「エンドピー」機能の ON/OFF を設定します。

7: ベル機能「bEL」
設定値　OFF/ON（初期値 OFF）

呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。
メモ）一度ベルが鳴るとその後約 10 秒間は着信ベル動作を行いません。

8: ランプ機能「LmP」
設定値　OFF/5 秒/ON（初期値 5 秒）

液晶ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作（ＰＴＴと音量調節以外）をすると自動的に 5 秒間照明が点灯します。

注）ディスプレイ照明を ON（常時点灯）に設定すると、電池の消耗が早くなります。

9: PTT ホールド機能「HLd」
設定値　OFF/ON（初期値 OFF）

【PTT】キーを一度押すと送信状態を継続、もう一度【PTT】キーを押すと受信状態になります。この機能を ON にすると、送信中ずっと【PTT】キーを押さなくても済みます。一部のイヤホンマイク・ヘッドセット系アクセサリーで【ＰＴＴ】キーのロック機能が無いものをお使いになるときに代用できる機能でもあります。

注）PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10: PTT オン／オフ機能「Ptt」
設定値　OFF/ON（初期値 ON）

送信を禁止する機能です。ＯＦＦに設定すると【PTT】キーを押しても送信できなくなります。ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで、返事はしなくてよい」ようなメンバーがいるときに使います。
メモ）この「ラジオ」のような無線機は業務通信の用語で「受令機」と呼ばれています。

11: 中継器接続手順変更機能「At」
設定値　OFF/ON1/ON2（初期値 ON2）

中継動作自動接続手順を変更する機能です。接続タイミングを対応中継器に合わせて最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

oFF ： 自動接続手順解除
on1 ：DJ-R20D、DJ-R100D を中継器とするとき
on2 ：DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R を中継器とするとき

アルインコ(株)　電子事業部